

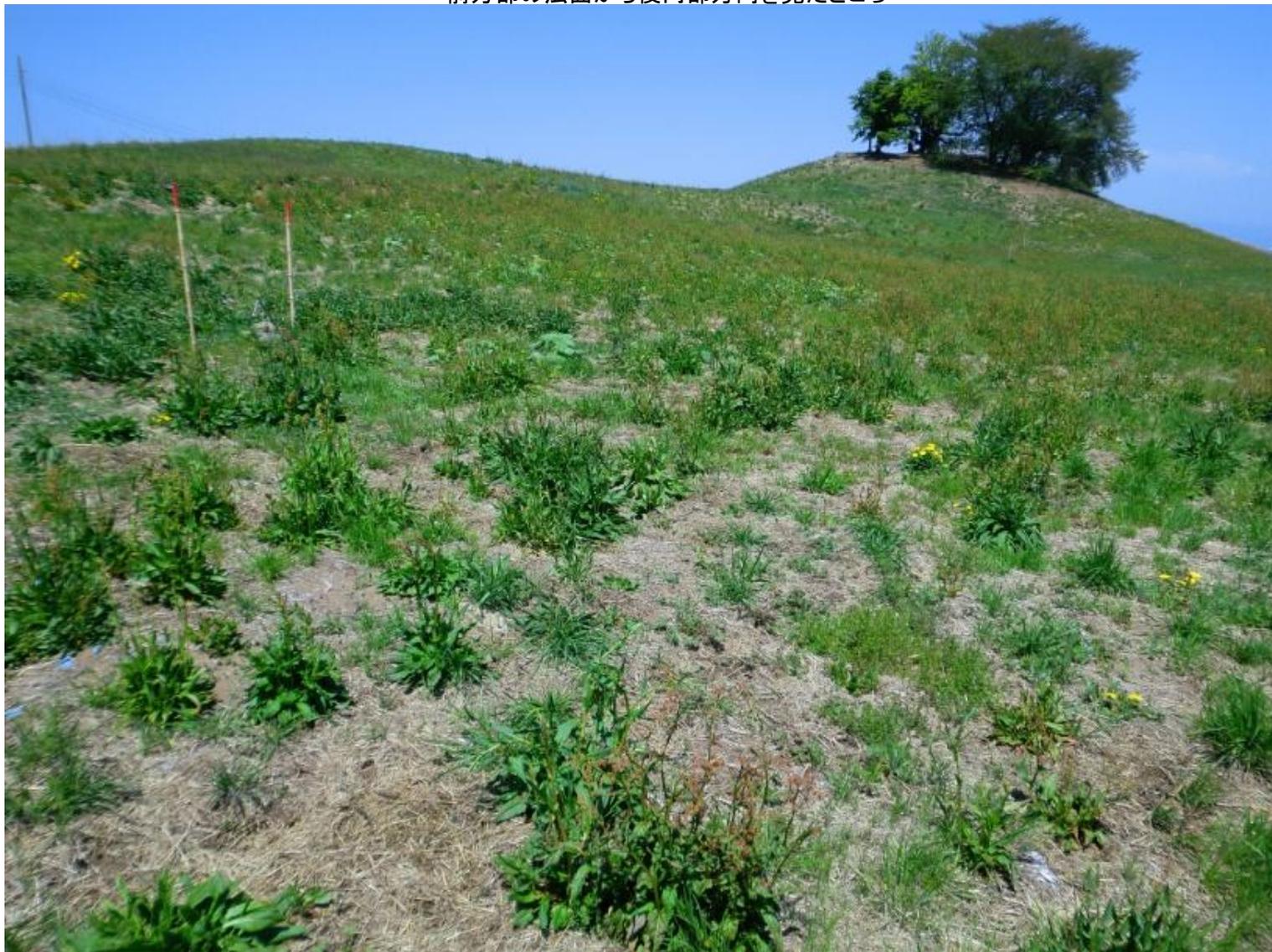
白石稲荷山古墳(藤岡市)

しろいしいなりやま

正面前方が丘陵上に築かれた白石稲荷山古墳/三段築成の前方後円墳/左手が前方部、右手が後円部/前方部が低い古式古墳という



前方部の法面から後円部方向を見たところ



反対の法面から後円部方向を見たところ



前方部から後円部を見たところ



くびれ部辺りを横から見る/左手が後円部、右手は前方部



後円部を見上げる



法面には葺石らしきものが点在する



後田部の墳頂/標柱と説明板が立っている



5世紀前半の築造で十二天塚古墳や十二天塚北古墳(ともに方墳とされる)を陪塚とし、墳頂部の東西に竪穴式礫郭が計二ヶ所確認されていると記されている。

国指定史跡

白石稻荷山古墳

所在地 藤岡市白石一三六五ほか
所有者 飯玉神社ほか

古墳は、鮎川左岸の上位段丘面東端に占地する前方後円墳である。大きさは全長一七五[㍎]、後円部径九二[㍎]、くびれ部幅五〇[㍎]、前方部幅約一四八[㍎]、後円部高一三・五[㍎]、前方部高六[㍎]である。昭和八年の調査で、墳頂部から東槨(全長八・二[㍎]、幅九〇[㍎])、西槨(全長五・三[㍎]、幅四〇[㍎])二つの竪穴式礫槨が確認されている。出土遺物は鏡、直刀、装飾品類、石製模造品(石枕・刀子・案・杵・埴・箕・釧・勾玉・屐など)などのほか家、短甲などの埴輪がある。

本墳は十二天塚古墳や十二天塚北古墳を陪塚とし、五世紀前半に造られた東日本を代表する古墳の一つで、豊富な副葬品から当時の生活文化を考える上で極めて重要である。

藤岡市教育委員会



埴輪寄棟倉庫(東京国立博物館所蔵)

「稲荷山古墳碑」と記された石碑も立っている



こちらは以前この墳頂にあった稲荷神社の名残りと思われる「稲荷山神社旧跡」の石碑



後円部墳頂から前方部方向を見たところ



これは少し離れた北東側から前方左手に白石稲荷山古墳の後円部を見たところ/その右手の低い高まりが陪塚の十二天塚古墳、十二天塚北古墳(更に右手)であろうか



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huzioka_inari2/

http://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_syoko/shirosihi_inariyamakofun.html

http://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_bunkazai/kenokuni2.html

http://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_bunkazai/siroisiinariyamakohun.html

<http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/gfshirsishi.htm>

http://www.sukima.com/33_takasaki08/47inari.html

<http://blog.goo.ne.jp/ttmida/e/e361bbfaa55c770ef543fb75f8683e9d>

http://kofunmoodys.fc2web.com/fujioka_si.html#siraisi_inarivama

http://2nd.geocities.jp/txinui/kantou_kofun2.htm

<http://go29.boy.jp/kofun/kanto/?p=1435>

<http://blogs.yahoo.co.jp/minigter/69446506.html?from=relatedCat>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/fujioka/inari.htm>



